

# 第51期 中間報告書

平成23年1月1日から平成23年6月30日まで



大和冷機工業株式会社

<http://www.drk.co.jp>

証券コード 6459

## 株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成23年6月30日をもちまして、第51期事業年度の中間期（平成23年1月1日から平成23年6月30日まで）を終了いたしましたので、この期間の事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年9月



## 事業の概況

当中間期におけるわが国経済は、海外経済の回復を背景に輸出を中心として、一部に景気持ち直しの兆しが見られたものの、3月11日に発生した東日本大震災の影響及び福島第一原子力発電所の事故による電力供給不足や風評被害による影響など、先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、主要取引業種の外食産業にあっては、長引く景気低迷の影響に加え、震災による消費自粛ムードなどから外食控えの状況が続き、また、食品業界や一般小売業にあっても震災の影響を受ける状況にあり、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中で、当社グループは、競争優位性を高めるべく、コスト競争力の強化、営業体制の強化を推進しつつ、既存顧客との相互信頼関係の構築、新規顧客の開拓、サービス体制の充実に取り組み、業績の維持向上に努めてまいりました。

また、1月にはメディカル分野の試薬などの保存に適した業界初のインバータ制御薬用ショーケース、同じく6月には業界初となるトリプルインバータ制御対面ショーケースを投入するなど、積極的な市場展開を図ってまいりました。

しかしながら、当中間期の連結業績につきましては、売上高12,823百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益2,369百万円（前年同期比11.0%減）、経常利益2,430百万円（前年同期比9.2%減）、中間純利益1,703百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、海外経済の緩やかな回復や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待されますが、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響による景気の下振れリスク、また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っており、予断を許さない厳しい経営環境が続くと思われまます。

このような環境の下、当社グループは、社業の安定成長を図るため、顧客のニーズを的確かつ迅速に捉えて新製品の開発に繋げ、新市場の創造・新規顧客の開拓に取り組むとともに、常に安全・安心を提供できるサービス技術の一層の強化等、顧客の信頼に応えうる諸施策を積極的に押し進め、かつ、製造コストと経費の削減を図り、収益基盤の改善に努めてまいる所存であります。

なお、中間配当金につきましては、前期同様1株につき5円とさせていただきますので、ご報告申し上げます。



## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成23年1月1日から 平成23年6月30日まで	平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで	平成22年1月1日から 平成22年12月31日まで
売上高	12,823	13,589	28,175
売上原価	5,054	5,667	12,004
売上総利益	7,769	7,922	16,171
販売費及び一般管理費	5,399	5,259	10,888
営業利益	2,369	2,662	5,282
営業外収益	119	103	232
受取利息及び配当金	21	16	41
不動産賃貸収入	13	13	26
その他の営業外収益	85	73	164
営業外費用	58	90	141
点検契約解約損	14	13	14
スクラップ処分費	28	33	67
その他の営業外費用	15	43	59
経常利益	2,430	2,675	5,373
特別利益	173	3	1
固定資産売却益	173	0	0
貸倒引当金戻入益	0	2	0
特別損失	2	62	97
固定資産除却損	2	56	78
固定資産売却損	—	5	5
投資有価証券評価損	—	—	13
税金等調整前中間(当期)純利益	2,601	2,616	5,277
法人税、住民税及び事業税	870	881	1,384
法人税等調整額	28	△ 80	374
中間(当期)純利益	1,703	1,815	3,518

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当中間期	前中間期
	平成23年1月1日から 平成23年6月30日まで	平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,381	3,770
投資活動による キャッシュ・フロー	2,483	△ 3,709
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 258	△ 258
現金及び現金同等物 の増減額	4,606	△ 197
現金及び現金同等物 の期首残高	24,573	23,548
現金及び現金同等物 の中間期末残高	29,179	23,350

(キャッシュ・フローの状況)

当中間期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて4,606百万円増加の29,179百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間期における営業活動による資金の増加は2,381百万円（前年同期は3,770百万円の資金の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2,601百万円、未払費用の増加675百万円、仕入債務の増加514百万円が、法人税等の支払額750百万円、棚卸資産の減少554百万円を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間期における投資活動による資金の増加は2,483百万円（前年同期は3,709百万円の資金の減少）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入4,500百万円、有形固定資産の売却による収入217百万円が、定期預金の預入による収入2,100百万円、固定資産の取得による支出1,320百万円を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間期における財務活動による資金の減少は258百万円（前年同期は258百万円の資金の減少）となりました。これは主に配当金の支払額257百万円でありました。



## ノンフロン断熱とインバータ制御で 地球に優しい製品を提供します

“冷”の技術が拓いてきた「食の安全」と「美味しさ」「快適」の追求。

より多くの場面で、より多くのプロフェッショナルのニーズに応えるために、日々進化を続けてまいりました。

21世紀は経営効率を高める一方、「地球温暖化問題」「オゾン層保護」のステップを確実にし、次世代に豊かな文化と未来を継続するために、「トータル力」で提供してまいります。



## ノンフロンシクロペンタンを採用した環境に優しい冷蔵庫

当社は業界に先駆け、本体、扉の断熱材にシクロペンタンを採用し廃棄製品の冷媒回収と合わせてノンフロン100%を目指します。

特に縦型冷蔵庫には業界初として2007年から採用しています。

今後さらに多くの製品に採用することで、地球環境を大切にする最良の業務用冷蔵庫・ショーケースをご提供します。

本体と扉に  
ノンフロン断熱採用  
(シクロペンタン)

ノンフロン断熱



# TOTAL SOLUTIONS

## オゾン層保護

HFC 冷媒 / ノンフロン断熱 / フロン回収システム

## 省エネ・省コスト

インバータ制御 / DC ファンモータ / 新マイコン /  
高断熱構造 / 低消費電力化 / NH ガラス / 節水制御

## 安心・安全

アラーム機能 / 漏電ブレーカー / 診断機能 / サービスネットワーク

## 衛生管理

クリアコートステンレス / 抗菌剤 / 防カビ剤 / 庫内アール加工

## 高機能・高付加価値

電子式鮮度保持 [鮮度くん] / 静音設計 [DC ファンモータ・インバータ制御] /  
高湿氷温庫 / センターノンピラー冷蔵庫・冷凍庫 / 急速凍結庫

## 2011年の主な新製品



### インバータ制御冷凍冷蔵庫 エコ蔵くん



インバータ制御冷凍冷蔵庫 エコ蔵くんに  
新たなラインナップ【301(3)YS2-EC】。

また、組立式冷凍庫DAIBILもインバータ化を  
実現、用途に合わせてお選びいただけます。



### インバータ制御電子式鮮度保持冷蔵庫 鮮度くん



鮮度保持に定評がある鮮度くんが待望の  
インバータ化。省エネと静音性が向上し、  
ますます使いやすくなりました。





## インバータ制御薬用冷蔵ショーケース **エコ蔵くん**



インバータ圧縮機の採用、ファンモータのDC化、インバータ蛍光灯の採用等で高い省エネを実現。

用途に応じ、標準・省エネ・パワーの三段階切替。静音性も向上しています。



## インバータ制御対面ショーケース **エコ蔵くん**



インバータ圧縮機の採用、ファンモータのDC化、LED照明の採用等で高い省エネを実現。

また、デザインを一新し、メンテナンス性も向上しました。



## ハッチタイプ食器洗浄機 **エコ洗くん**



すすぎ水量は業界トップの2L以下。  
優れた省エネ設計と使いやすさを実現しました。

ラックを出し入れしやすい開口寸法365mm。  
大皿やトレイも洗えます。  
アンダーカウンタータイプもあります。

# 会社の概況

平成23年6月30日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英文名称	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式317,771株を含む）
中間期末株主総数	4,178名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市水城6丁目32番1号
関東大利根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	1,956名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機および冷熱応用製品の製造販売およびリース並びに点検修理</li><li>・ 冷熱機器の設備の工事および各種部品の製造販売並びに点検修理</li><li>・ 厨房機器、装置、部品の製造販売およびリース並びに点検修理</li><li>・ 店舗・厨房の企画、設計および施工</li></ul>
子会社	株式会社トーニチ

## 役員

平成23年6月30日現在

代表取締役会長……	尾崎	茂
代表取締役社長……	尾崎	敦史
常務取締役……	杉田	壽宏
常務取締役……	小野	文男
取締役……	三浦	明
取締役……	工藤	哲郎
常勤監査役……	大津加	一治
監査役……	日下	敏彦
監査役……	西久保	博康

(注) 監査役 日下敏彦、西久保博康の両氏は、社外監査役であります。

## 執行役員

平成23年6月30日現在

社長執行役員……	尾崎	敦史
常務執行役員……	杉田	壽宏
常務執行役員……	小野	文男
執行役員……	三浦	明
執行役員……	工藤	哲郎
執行役員……	尾崎	雅広
執行役員……	江村	祥一
執行役員……	那須	元彰
執行役員……	平出	和茂
執行役員……	高橋	稔

## 株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主總會

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

特別口座の口座管理機関連絡先

大阪府中央区伏見町3丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券

代行部

電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第1部

大阪証券取引所 市場第1部

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.drk.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

# 信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク。

全国をサービス・メンテナンス・最新情報の高感度アンテナとしてネットワーク。よりきめ細かく、スピーディに対応します。



大阪本社



東京本社



福岡工場



佐伯工場



関東大利根工場